

お兄ちゃんのカタチ処女穴で覚えようね

知らぬ間に

催眠開発

される

義妹

3

FUJITSUNA
フジツナ





美咲 みさき

今度は美咲を
気持ちよくして
あげるよ



うん

さあ
お兄ちゃんに
身を委ねて



いっぱい
気持ちよくなるろう

///
|
...

うん
うん
うん

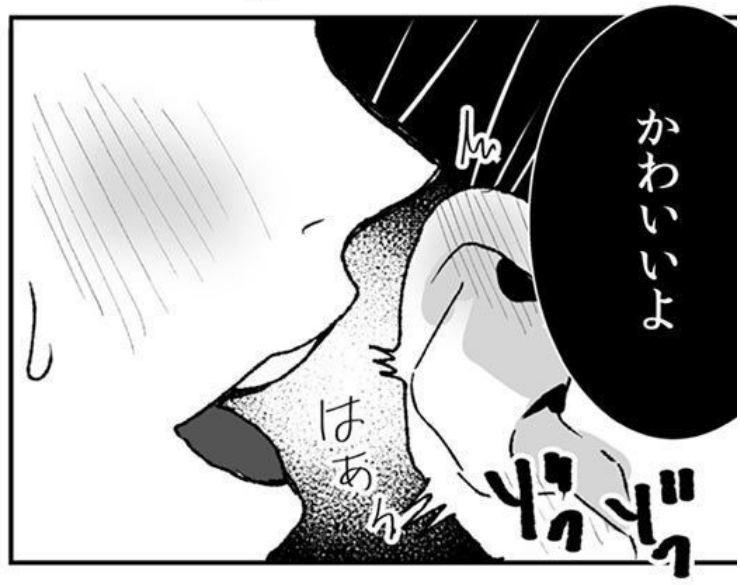
うん
うん
うん



濡れてる

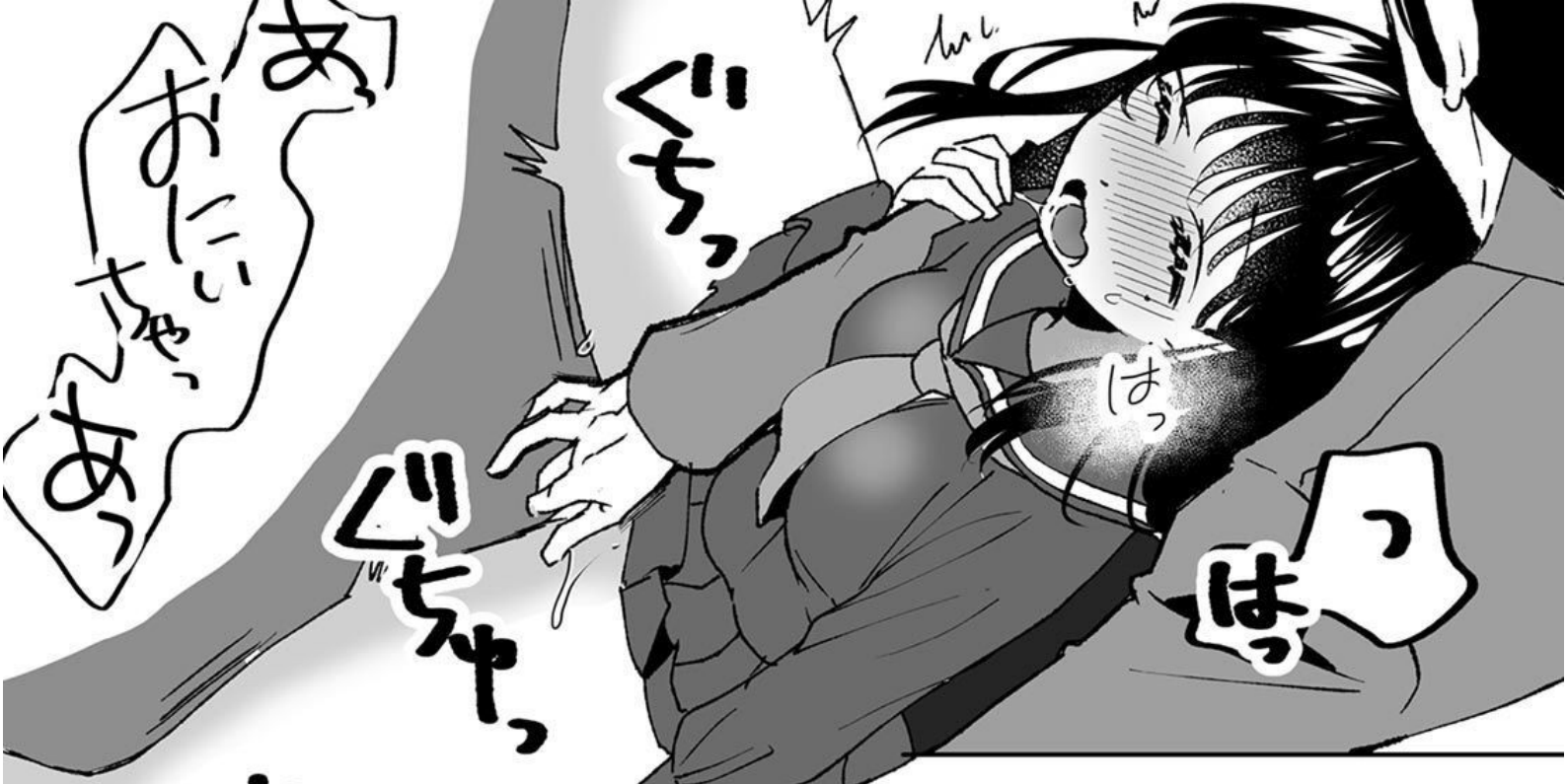
あー

ん



あー

あ



エッチな音
いっぱい出てるよ





ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ



初めて
イッた気分は

気持ちよかった
だろう？

どうだい美咲？

お兄ちゃん

—うん

はし
ビクッ

はし

はし

はし

はし

良い子にしてたら
明日はもつと

気持ちいいこと
してあげるからね

いゅわ...♡

だからもう

他の男のことなんて
忘れるんだ

うん
お兄ちゃん……

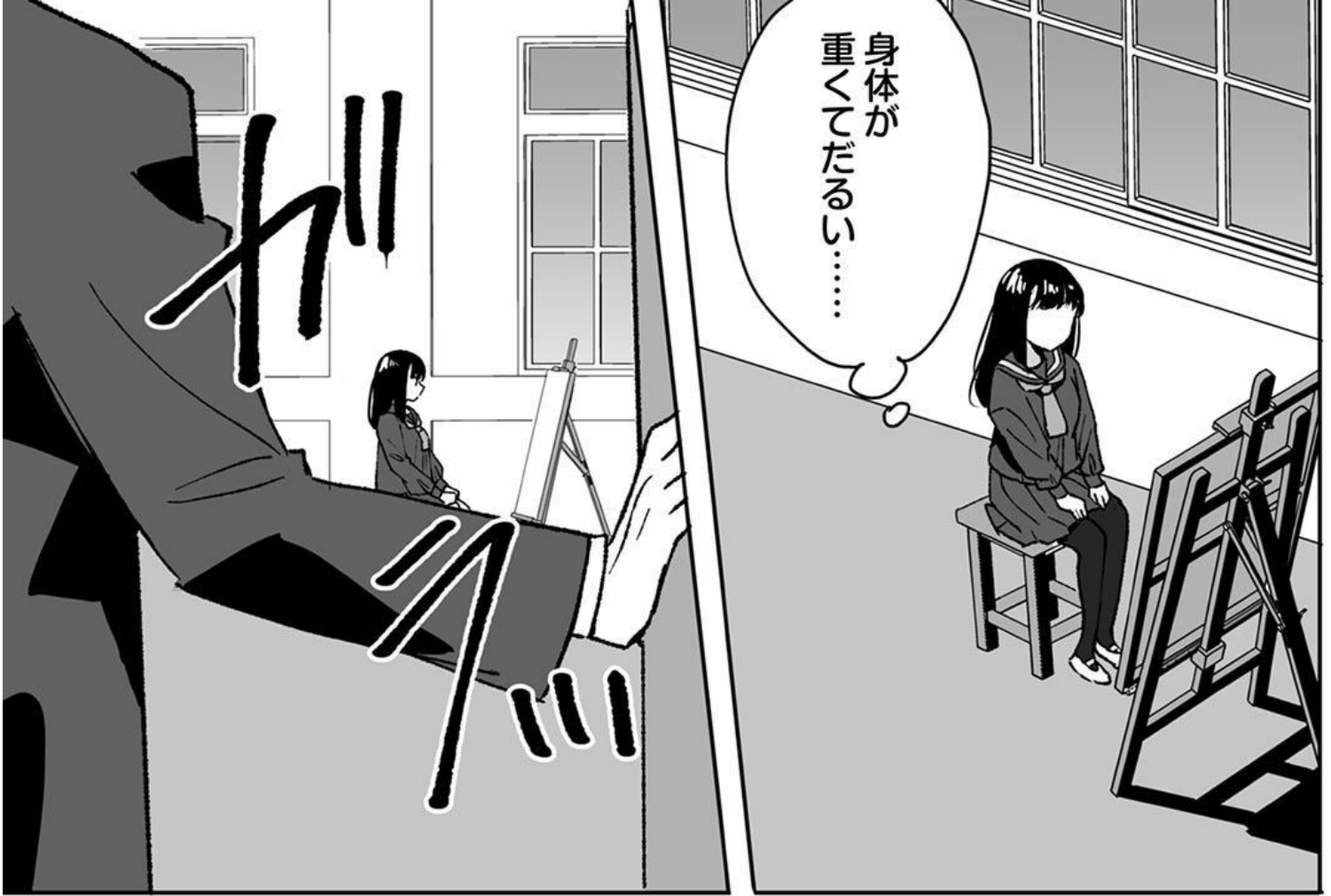


——はあ

なんだろう

やっぱり
今日も
疲れが取れない……





身体が
重くてだるい……



あ



調子は
どう?

あっ

飯塚さん



なんだから

そうですね
やっぱりまだ
本調子じゃなくて



そっか



センパイ

あれ？



センパイって

こんな顔だっけ？



—そうかも
しれないですね

やだなあ



そうだ

放っておいて
ほしい

よかったら
今度の日曜とか



夢見が
悪いってことは

何か無自覚に
ストレスを感じている
とかかな？



気晴らしに
一緒に—

あの

集中
したいので

一人にして
くれませんか？

ドキッ

え？

あう

そのう

う

じゃあ……





ふう



また……

じゃ……



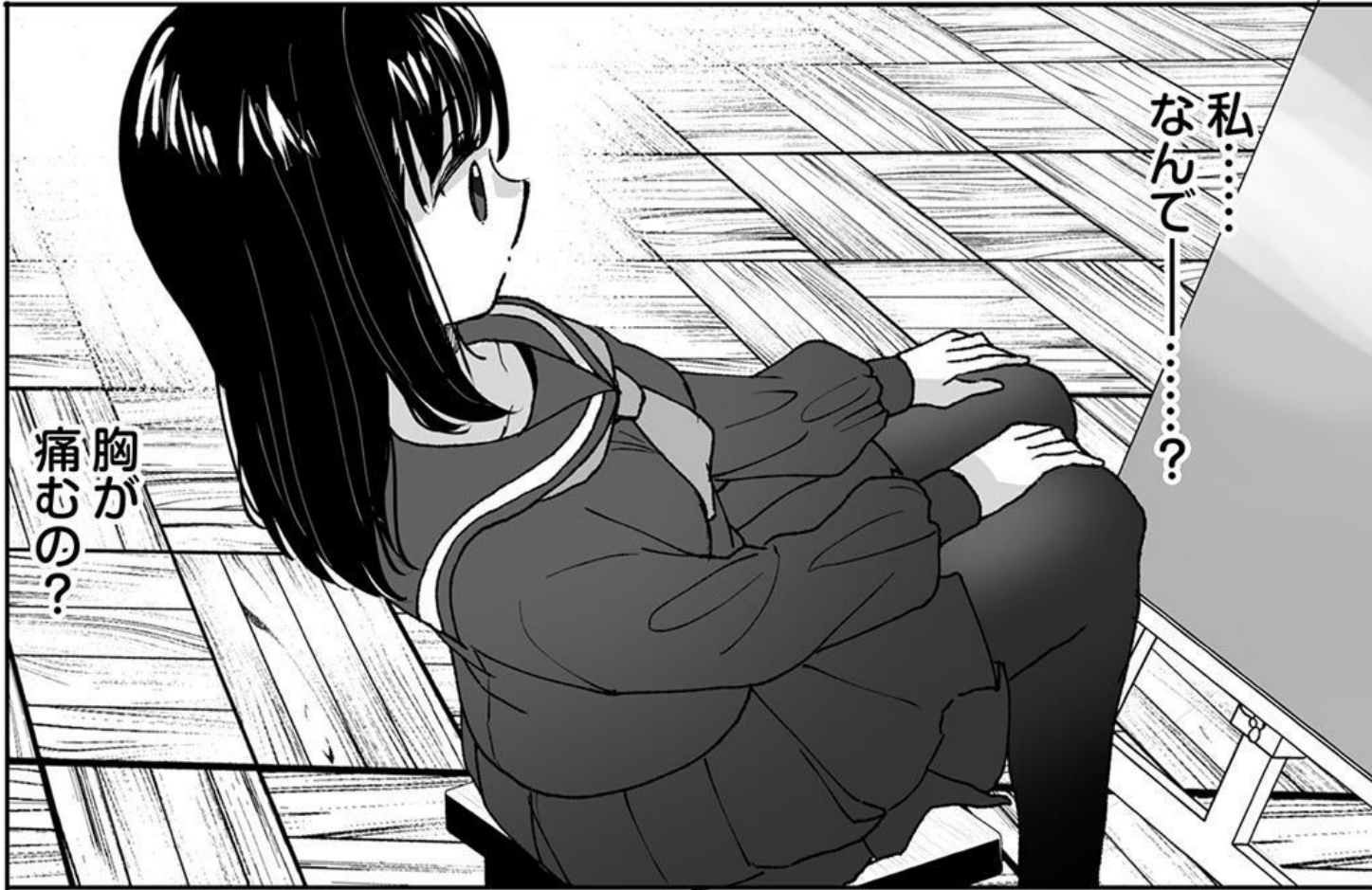
ようやく
一人になれた



なんだろう
センパイが急に
嫌に感じて

昨日まで
あんなに
好きだったのに

フゥッ





お兄ちゃんに
会いたい



わがや



もう
帰ろう



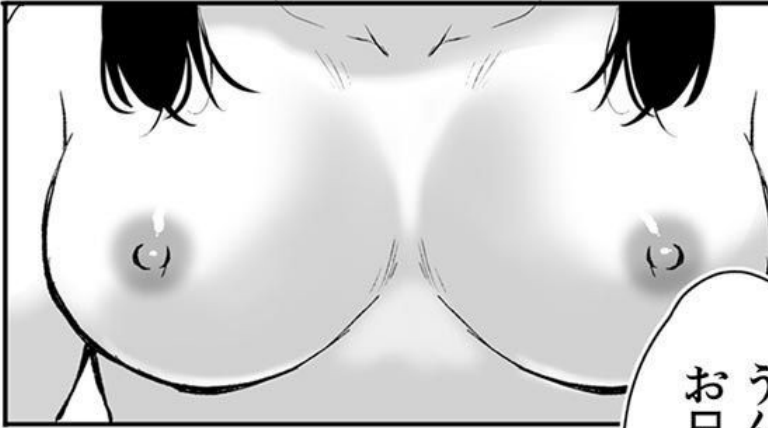
うん



良い子だ
美咲



身体を
よく見せて



うん
お兄ちゃん



ああ

とっても
綺麗だ……



おこぞ

あたたかい……



ずっと
こんな風に
抱きしめたかった



かわいい
僕の美咲

美咲も
そうだろうか？

お兄ちゃんだけ
いればいいだろ

うん

飯塚さんと

一緒に
行ってみたいな

お兄ちゃんだけ
いれば………

お兄ちゃん………



美咲!!

どうした!?
なんで泣いてるんだ!?



—あ

わ…からないい……

私……

センパイが……?



—そうか……

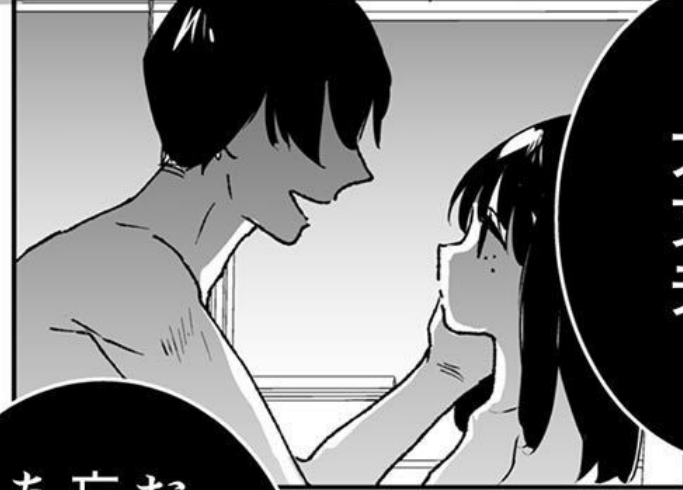


その男が

美咲を
惑わして
いるんだね？

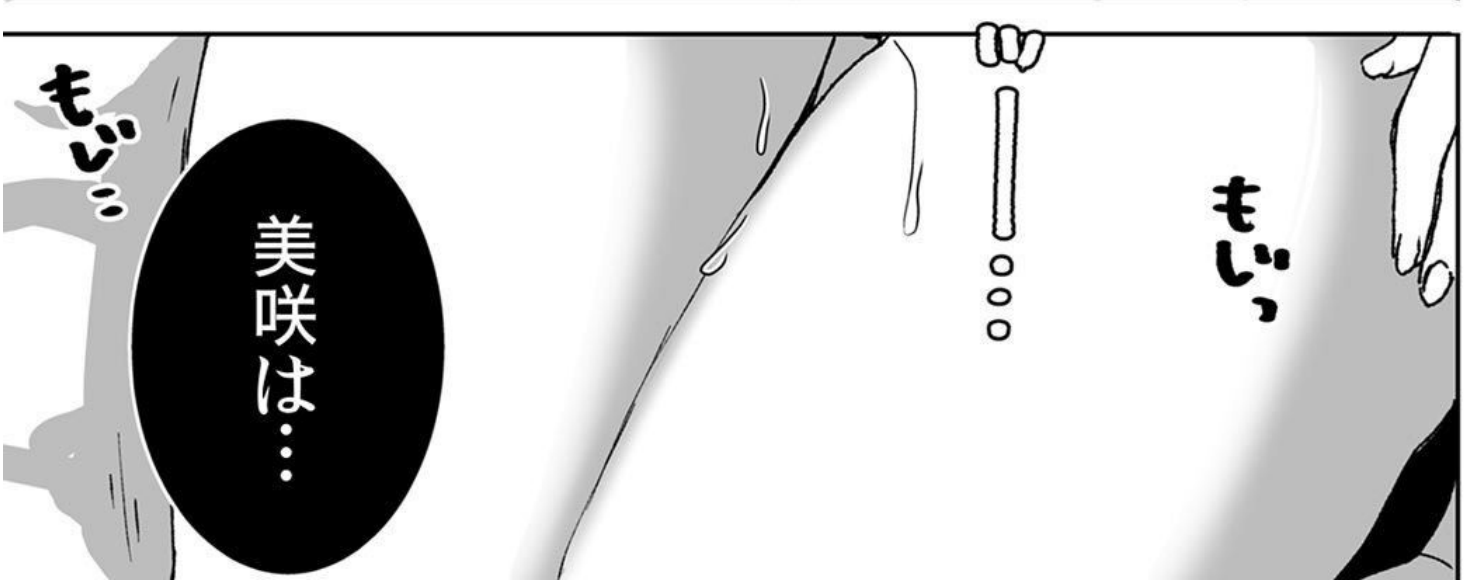
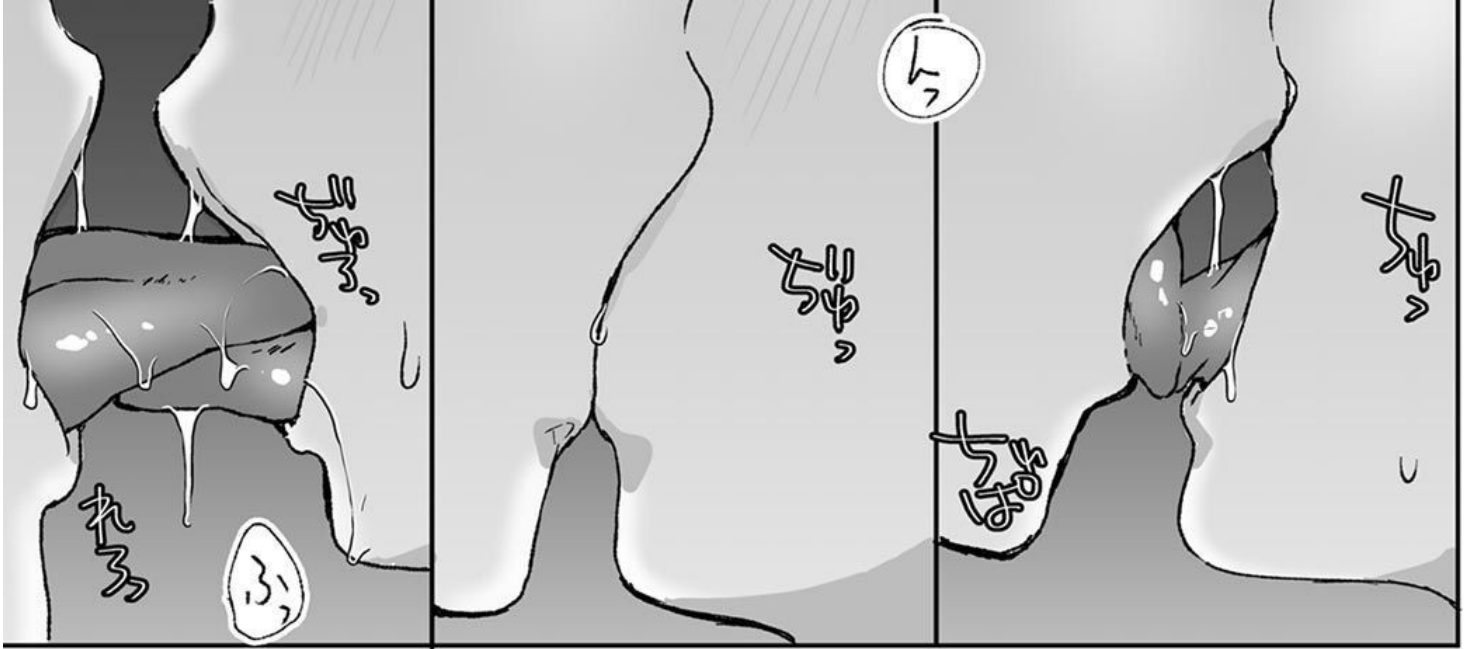


でも
大丈夫



お兄ちゃんが
忘れさせて
あげるよ







これが
欲しいんだろ？

ふんふん

んんん



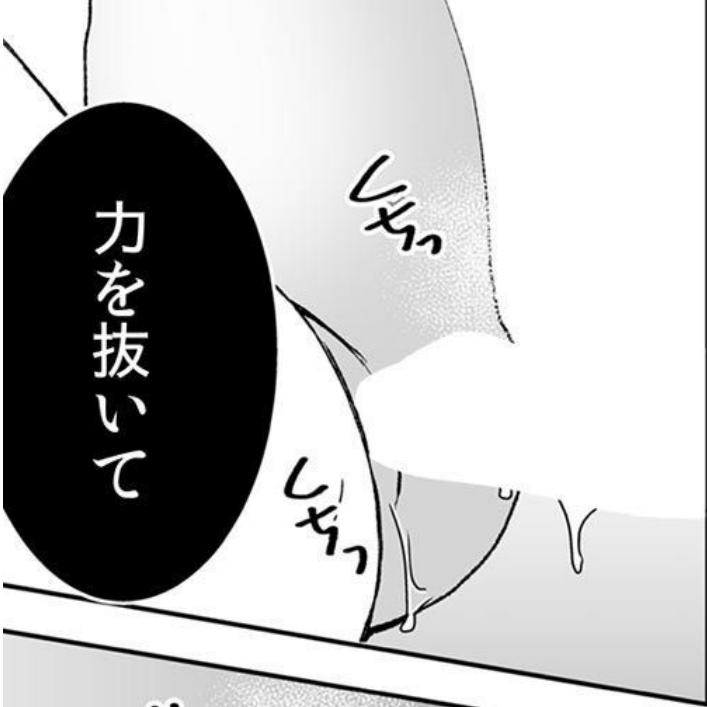
— うん

欲しい

— 良い子だ

んんん
んんん

んんん
んんん



力を抜いて

しゅん
しゅん



一つになろう

ほっ
ほっ



にゅるるるる

ああ

美咲

これで本当に
僕だけのモノだ





お兄ちゃんのカタチ処女穴で覚えようね

～知らぬ間に催眠開発される義妹

(3)

著者名 フジツナ

発行 DEEPER-ZERO

※ 本作品を無断転載・複製・複写は固く禁じます。